

救急隊員感染防止衣賃貸借（単価契約）（長期継続契約）仕様書

この仕様書は、明石市消防局（以下「発注者」という。）が借入れる救急活動用感染防止衣（以下「感染防止衣」という。）、その他必要事項を明示したものであり、本賃貸借の実施にあたっては、これを忠実に履行しなければならない。

1 事業名称

救急隊員感染防止衣賃貸借（単価契約）（長期継続契約）

2 履行期間

令和5年4月3日から令和8年3月31日まで

3 履行場所

履行場所は、別紙1のとおり

4 目的

発注者が使用する感染防止衣は、救急隊員が救急活動時において着用するものであり、救急隊員の感染防止及び市民への二次感染予防の観点から、感染防止衣の性能維持のため、損耗状態の把握及び補修、クリーニング等、適切な運用を行い、公務の円滑な推進遂行を図ることを目的とする。

(1) クリーニングにかかる運用について（回収・配達）

ア 受注者は、発注者の指定する場所に、毎週2回クリーニングのための回収を行い、その際に前回回収した感染防止衣の配達も行う。感染防止衣の受け渡しは、書面にて着数の確認を行うこと。回収、配達の見積り場所の詳細については発注者と協議し、回収、配達にかかる必要な備品は受注者がこれを準備する。回収、配達は受注者が行い、代行は禁止する。

イ 配達分の感染防止衣と回収分の感染防止衣が混在しないよう区分して配送を行うこと。

ウ 受注者は、感染防止衣を回収後ただちに1着ごとにポケット検査を実施し、ポケット内に忘れ物があれば、返却袋等を作り、次回配達日に返却すること。

エ 感染防止衣に破れ、疵、ほころび等を発見した場合は、その状態に応じて補修または交換を行うこと。また、油性、水性の汚れ、シミは前処理にて除去する等、適切な処理を行うこと。

オ 洗濯を行う際は、感染防止衣の破損防止のため、感染防止衣のファスナー及びポケットフリップの面ファスナーは全て閉じること。

カ 洗濯は、予洗の洗浄時間を10分、本洗は40℃の湯で20分とする。また、すすぎを3分ずつ2回行い、3回目に撥水剤を入れて5分すすぐこと。

キ 乾燥は、60℃の温風で30分行う。その後、冷風で5分行うこと。

ク 仕上げは、感染防止衣をハンガーに掛けて、トンネルフィニッシャーで皺を伸ばすこと。ただし、その状態に応じてアイロンにて補正を行うことができる。

ケ 仕上げの際、感染防止衣のシミ、汚れの有無を確認及びファスナー破損の有無を確認し、不具合があれば、修理・交換を行うこと。

コ 仕上げ後は、1着ごとに透明の包装袋にて包装を行い、未処理品との接触が無いようにすること。

サ 配送の際は、個人の識別が容易に出来るようシール等を作成し、透明の包装袋の上に貼り付けて配送すること。また、配送は受注者が行うとともに、発注者指定場所にて職員立会いの上、感染防止衣の受け渡しをすること。

また、感染防止衣の受け渡しの段階において感染防止衣の汚れが落ちていないものについては、再度洗濯を行うものとする。なお、その場合の費用は受注者の負担とする。

(2) メンテナンスに関する品質管理について

ア 感染防止衣の単品検査により、汚れ・損耗・破損・忘れ物の確認を怠りなく実施し、報告の義務を負う。

イ 洗濯・消毒に関しては、適宜、発注者の要請に対し、仕様を満たしている報告をし、必要に応じて使用溶剤の提出を行う。

ウ 感染防止衣の品質確認を目的に、1カ月毎に洗濯の実績、破損の状況等の報告を実施する。

5 感染防止衣について

(1) 感染防止衣は、受注者が発注者に提供するものとする。

(2) 感染防止衣の仕様については、別紙2のとおりとする。

6 費用の支払いについて

費用の支払いは毎月払いとする。

7 その他

(1) 契約にあたっては、本仕様書を十分に検討し疑義のある場合は、期間内に指定の方法により質問し、その内容を熟知のうえ契約すること。

なお、契約後における仕様書上の疑義は発注者の解釈によるものとする。

(2) 発注者の責に帰すべき事由により受注者所有物品の全部または一部を滅失またはき損したときは、当該滅失またはき損による物品の損害額に相当する金額を損害賠償として、受注者に支払わなければならない。発注者が物品を原状に回復したときは、この限りではない。

(3) 受注者の責に帰すべき事由により発注者所有物品の全部または一部を滅失またはき損したときは、当該滅失またはき損による物品の損害額に相当する金額を損害賠償として、発注者に支払わなければならない。受注者が物品を原状に回復したときは、この限りではない。

(4) 感染防止衣の運用、管理方法及び縫製等について、上記以外の問題で疑義が生じた場合は、ただちに発注者と協議し、解決すること。

8 長期継続契約について

本賃貸借契約は、地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約として契約を行うため、契約の翌年度以降において、本賃貸借契約における予算が年間予定賃貸借料未滿に減額された場合又

は削減された場合は契約を変更又は解除することができる。

履行場所

	名 称	住 所	電話番号
1	明石市消防署	明石市藤江924番地の8	(078)918-5273
2	朝霧分署	明石市朝霧町3丁目10番1号	(078)915-0119
3	中崎分署	明石市中崎1丁目6番20号	(078)918-0119
4	大久保分署	明石市大久保町西脇364番地の12	(078)934-0119
5	江井島分署	明石市大久保町江井島794番地の8	(078)946-0119
6	魚住分署	明石市魚住町西岡500番地	(078)948-0119
7	二見分署	明石市二見町西二見767番地の3	(078)942-0119

感染防止衣の仕様について

1 感染防止衣の運用について

- (1) 受注者は、感染防止衣を救急隊員1名につき上衣3枚、下衣2枚を提供すること。
また、江井島分署を除く消防署及び各分署に感染防止衣を上衣、下衣各4枚提供すること。
- (2) 受注者は、冬季（11月から4月）において、防寒用インナーベスト（以下「インナーベスト」という。）を救急隊員1人につき1枚提供すること。
- (3) 救急隊員数については、別添1のとおり。
- (4) 使用する感染防止衣及びインナーベストの詳細については、別図1～5のとおりとする。
- (5) 受注者は、感染防止衣の管理業務を行うための管理用ラベル（バーコード等）を縫着し、使用状況を適切に管理し、個人別単品管理を行うこと。
- (6) 受注者は、クリーニング後の感染防止衣を、着用した職員に戻すこと。回収した感染防止衣の衛生面や紛失防止等の保安面を把握するために、個人別クリーニング使用実績、感染防止衣の破損、交換状況を記したデータを適正に管理し、発注者が必要と認めた時は、発注者にデータを提出すること。
- (7) インナーベストは、履行期間中、個人管理とし、冬季期間に各自が取り付け着用する。クリーニングに出す場合は、本体の感染防止衣上着に取り付けたまま回収ボックスに投函する。
- (8) 職員の人事異動や退職等が発生した場合、速やかに発注者から受注者に連絡するとともに、受注者は発注者からの連絡に基づき、早急に感染防止衣の補充・回収を行うこと。
なお、人事異動や退職、サイズ変更等で発生した感染防止衣は、検品の後、必要に応じ補修・クリーニングを実施した上で再利用は可能とする。
- (9) 履行期間中において、感染防止衣サイズの変更が必要になった場合には、発注者からの連絡をもって速やかにこれに対応し、補充・回収を行うこと。
- (10) 受注者は、感染防止衣が破損、損耗した場合、随時、新品もしくは使用可能な感染防止衣と交換しなければならない。
- (11) 感染防止衣については、予備在庫を準備し、不測の事態が発生した場合においても、救急業務に支障をきたすことのないよう対応すること。
なお、感染防止衣の必要総数は、発注者との協議により決定することとする。

2 感染防止衣の管理方法について

- (1) 感染防止衣の品質（衛生、清潔、安全）を確保するために、感染防止衣の定期的な単品検査とクリーニングを行うこと。
また、業務上発生した破損、汚れは適宜対応し、欠品が起きないように維持、管理すること。

- (2) 着用中の感染防止衣、あるいは発注者職員保管の感染防止衣の管理、保管の責任は発注者にあることとするが、回収した感染防止衣とクリーニング預かりの感染防止衣については受注者に管理、保管の責任があることとする。
- (3) 感染防止衣を廃棄する場合については、発注者担当者に廃棄する旨を連絡し、発注者担当者の指示を受けた後、適切に廃棄すること。また、感染防止衣を廃棄する際は、発注者担当者が立ち会うことが出来ることとする。

3 感染防止衣の縫製等について（別図1～5参照）

(1) 感染防止衣上衣

感染防止衣上衣は、前中央開き長袖ラグランジャンパー型の上衣とする。前身頃と後身頃、並びに両腕には反射材を縫着し、発注者の指定するワッペン（文字入りプリント生地）を指定の箇所（右胸と背中）に縫い付けることとする。

ア サイズ

感染防止衣上衣のサイズは、＜S、M、L、LL、3L、4L＞の6種類とする。（別図6-1参照）

イ 形式

2色使いとし、前身頃、後身頃とも、切り返しの上部を濃色（A色）、下部を薄い色（B色）使いのデザインとする。襟は1枚襟とし、前開きファスナー仕様の前立て付きとする。袖はラグラン型で、上袖下袖切り返しの2色使いとする。前身頃には左に胸ポケット、両脇にはマチ付き（A色）のアウトポケットを付ける。背ヨークその他指定の箇所には規定の反射材を縫い付ける。裾は全体に帯式とし、後身頃にはゴムを入れたシャーリング仕立てとする。

ウ 縫製状態

- (ア) 各部の縫合は、ミシンの目飛び及び縫いはずれの無いよう、優良に仕上げること。
- (イ) 縫い代は、各部分に適した量を充分にとること。
- (ウ) 糸調子を優良に合わせ、パッカリング、縫い曲がりを防止すること。
- (エ) 縫い始め、縫い終わりには返し針を施すこと。
- (オ) 地の目を通し、各パーツの縫い合わせにずれが無いように注意すること。

エ 縫製各部

(ア) 襟（A色）

後襟中心の部位で幅は6.0cmとし、全体に6mmのステッチを付ける。ファスナー止まりの上端部は面ファスナー止めとする。衿の表裏には指定の接着芯を張り、中には指定のフラシ芯を入れること。

(イ) 前たて（A色）

指定の芯を張り、左右両端に指定のパイピングを縫い込む。前たて幅は5.5cmとし6mmのステッチをかける。上端は面ファスナー止めとし、下端にかけて、所定の位置に同様の面ファスナーを縫い付けること。

(ウ) 上前身頃（2色使い）

上前身頃には指定の反射材を縫い付け、袖付け部分は指定のパイピング仕立てとする。胸の部分にマチ付き（A色）の天蓋付きアウトポケットと胸ループ（無線機装着）を縫いつける。但し、ペン指し口には滑り止めテープを縫付ける。脇にも同じく、マチ付き（A色）の天蓋付きアウトポケットを縫い付ける。内側の左脇縫い合わせ部分、指定の位置に「品質表示片布」並びに「SEK赤マーク」を縫い付けること。

(エ) 下前身頃（2色使い）

上前身頃に合わせて指定の反射材を縫い付け、袖付けは、指定のパイピング仕立てとする。脇には、上前身頃と同じ脇ポケットを縫い付けること。

(オ) 上袖（A色）～下袖（B色）

2枚袖のラグラン型で、上袖はA色、下袖はB色の配色使いとする。左袖の上袖部分にはA色のペン指しを付け、口には滑り止めテープを縫いつける。規定の反射布を上袖部分に縫い付ける。袖口には平ゴムを入れて、中央をミシンでたたくこと。

(カ) 背ヨーク（A色）

背ヨークは1枚裁ちとし、背中央切り返しの部分には規定の反射材を縫い付ける。また、指定の位置には「明石市消防局」のワッペンを縫い付ける。内側の襟の下、中央部分にはバーコードとサイズ片布を縫い付けること。インナーベスト止めのゴムループを適所に縫着する。

(キ) 後身頃全体（2色使い）

濃紺（A色）と薄ブルー（B色）の2色使いとする。左右袖付け部分は、指定のパイピング使いとする。裾（A色）は5cm幅のシャーリング付きベルトを縫着する。

(ク) 見返し（A色）

前身頃左右に指定の芯地を貼った身返しをつける。インナーベストのライナーを着用した際に留めるための釦穴かがりを指定の箇所につける

オ インナーベスト縫製細部

背身頃・左右前身頃は、それぞれ1枚仕立てとし、本体の感染防止衣に釦止めとする。裁断部始末は、裾は仕上がり幅が1cmの巻き縫い仕立てとし、両袖ぐりはオーバーロック処理の上、片倒しし、0.6mmのステッチを掛ける。肩線並びに脇線は、オーバーロック後割縫とする。指定の場所に、バーコードを縫い付ける。

カ ワッペン

感染防止衣と同じ素材を使用し、一般隊員は右胸用に「HYOGO 明石市消防局」の文字を二段、救急救命士は右胸用に「明石市消防局 救急救命士」の文字を二段、背中用にも「HYOGO 明石市消防局」の文字を二段（救急救命士は「明石市消防局 救急救命士」の文字を二段）をプリントした生地を、芯地を貼り縫いはずれ、縫い曲がりの無いように感染防止衣上衣に縫い付けること。（別図7-1、7-2参照）

(2) 感染防止衣下衣

感染防止衣下衣は、感染防止衣上衣と同色のA色単色使いのパンツとする。両脇にはファス

ナー付きの手の差込口を設け、膝当てを縫い付ける。反射テープと反射パイピングテープを使用し、ウエスト並びに裾口は総ゴム仕立てとする。

ア サイズ

感染防止衣下衣のサイズは〈S、M、L、LL、3L、4L、5L〉の7種類とする。(別図6-2参照)

イ 形式

ウエストは総ゴム仕立てのパンツとする。色は感染防止衣上衣に使用している濃紺(A色)と同色とし両脇線には反射パイピングテープを挟み込む。両脇には、袋布無しのファスナー開きポケットを作る。裾口両方指定の位置に3cm幅の反射テープを1周縫いつけ、裾口は総ゴム仕立てとする。膝には膝当てを縫い付ける。

ウ 縫製状態

- (ア) 各部の縫合は、ミシンの目飛び及び縫いはずれの無いように、優良に仕上げること。
- (イ) 縫い代は、各部分に適した量を充分にとること。
- (ウ) 糸調子を優良に合わせ、パッカリング、縫い曲がり防止すること。
- (エ) 縫い始め、縫い終わりには返し針を施すこと。
- (オ) 地の目を通し、各パーツの縫い合わせにずれが無いように注意すること。

エ 縫製各部

- (ア) ウエスト
 - 3cm幅の平ゴムを入れ、総ゴム仕立てとする。中央にはゴム押さえステッチを1本入れる。
- (イ) 両脇線縫い
 - 腰部の両脇には、口幅19cm開きのファスナーを縫い付け、ファスナーの下部から裾口まで反射パイピングテープを挟み込む。
- (ウ) 身頃
 - 左前身頃の表、指定の部分にバーコードとサイズネームを縫い付ける。裏側には、品質表示とSEK赤マークを縫い付ける。左右の膝部分には、共生地の膝当てを縫いつけ下部には3cm幅の反射テープを1周縫着する。
- (エ) 裾口
 - 左右共に、1.5cm幅の平ゴムを使用して総ゴム仕立てとする。

4 感染防止衣材料規格

(1) 表生地規格

項目	規格	検査方法
色相	2色使い〈薄ブルーB色・濃ブルーA色〉	
組織	平織 (二重織)	
品質	ポリエステル100% (白色導電性繊維1cm間隔含)	

生 機 幅	150cm 以上		JIS L 1096 A 法片耳落とし
仕上がり密度	タテ	148 本/in 以上	JIS L 1096 A 法
	ヨコ	123 本/in 以上	JIS L 1096 A 法
織 度	タテ	84Dtex/110Dtex (導電糸 22Dtex)	
	ヨコ	84Dtex/110Dtex	
重 量		125±10g/m ²	JIS L 1096 A 法
染色堅牢度	洗濯汚染	濃色 3－4 級、淡色 4 級	JIS L 0844 A-2 法
	乾摩擦 湿摩擦	乾濃色 3－4 級 淡色 4 級 湿濃色 3 級 淡色 4 級	JIS L 0849 学振型
	汗(酸・アルカリ)	濃色 3－4 級 淡色 4 級	JIS L 0848
引裂強力	タテ・ヨコ	45N 以上/45N 以上	JIS L 1096 D 法
縫目滑脱	タテ・ヨコ	3 mm 以下/ 3 mm 以下	JIS L 1096 B 法 117. 7N
通気度		100cc/cm ² ・s 以上	JIS L 1096 A 法
撥水度	初期	4 級以上	JIS L 1092 スプレー法
	50 回洗濯後	3 級以上	JIS L 1092 スプレー法 洗濯処理は JIS L 0217 洗い方番号 103、吊り干し
制菌加工		「SEK 赤」 取得 特定用途	SEK 特定用途

(2) インナーベスト(ライナー)生地規格

項 目	規 格	備 考
品 質	ポリエステル 100%	
品 名	フリース	
糸番手	32+150D/36F	20 ゲージ使い
目付け(重量)	248 g/m ² 平均	全幅 370 g 平均

(3) ワッペン

前記 4 感染防止衣材料規格 (1)表生地規格を参照。

なお、ワッペンにかかる芯地については、次のとおり。

ア 芯地-1 (接着芯)

品名・規格	接着芯 ポリエステル 100%
品番	3GF35

イ 芯地-2 (フラシ芯)

品名・規格	ヒートハイボン(不織布) ポリエステル 80% ビニロン 20%
品番	2870P

(4) 感染防止衣上着の襟、前立て部の芯地並びに副資材の材料

項目	品番	規格
襟芯地	3GF35 カラーY	122 cm幅
襟フラシ芯地	S2000	サイズに合わせる
フロントファスナー	5CNF-OR-DA8LH/E C/#920	サイズに合わせる
ギャザーゴム	16000 白オペロン	45 mm幅
その他、氏名片布・品質表示・サイズネーム・バーコード、エコマーク		

(5) 反射布規格

項目	規格	検査方法
品名	ユニグラレー	
品番	MY4805US	
色相	シルバー（再帰性反射材）	
組織	平織（ブロード）	
品質	ポリエステル/綿=65%/35%	
耐性試験項目		
洗濯性	洗濯後 250cd/lx/m ² 以上	IS06330・2A法・30回
ドライクリーニング	洗濯後 100cd/lx/m ² 以上	IS03175・5回
水・油・汗	黒変防止処理 堅牢度4級以上	ジャングル試験
摩擦	摩擦試験後 100cd/lx/m ² 以上	IS012947-2・9KPa/5,000回
屈曲	屈曲試験後 100cd/lx/m ² 以上	IS07854・A法/7,500回
反射性能 (反射輝度)	初期反射性能 400cd/lx/m ² 以上 入射角 cd/lx/m ² 5° 450以上 20° 450以上 30° 430以上 40° 400以上	JIS Z 9117(12' /5°) 測定方法 EN ISO 20471

※ ジャングル試験：試験液に濡らした指で試験片を圧着し、その試験片を温水の入ったデシケータに水面に触れないように差し込み、蓋をして密閉する。このデシケータを80℃の恒温乾燥機の中に16時間放置して検査する。

5 提出書類

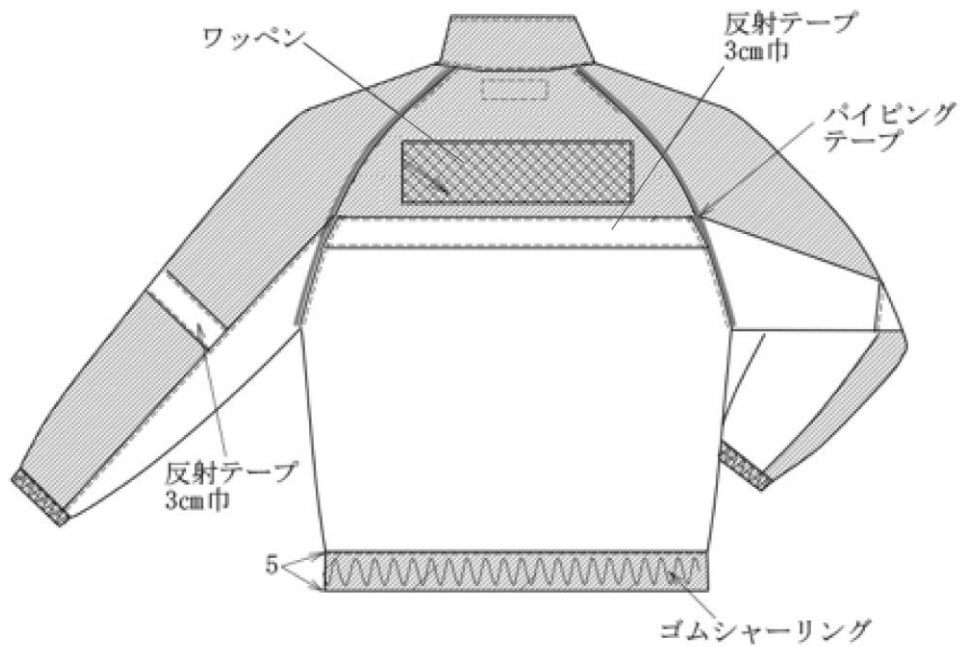
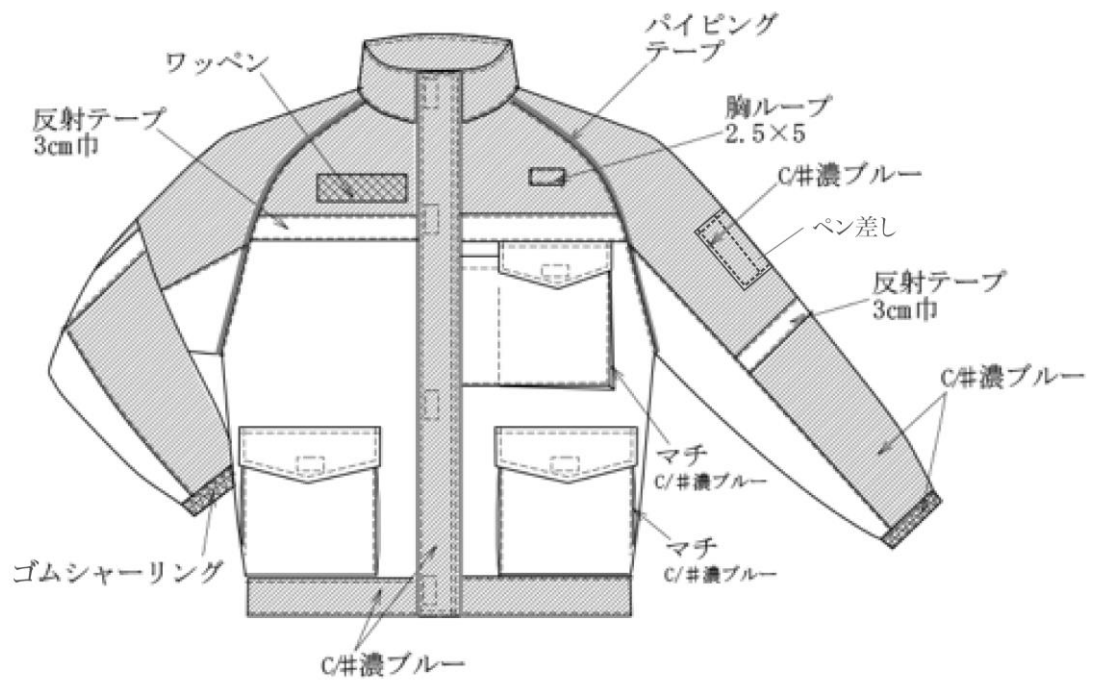
(1) 証明書の提出

- ア 感染防止衣表生地製造メーカーからの「品質並びに出荷引き受け証明書」、提供する感染防止衣のサンプルを見積合せの事後に提出すること。
- イ 使用する洗濯工場の経歴書を提出し、承認を受けること。

(2) その他

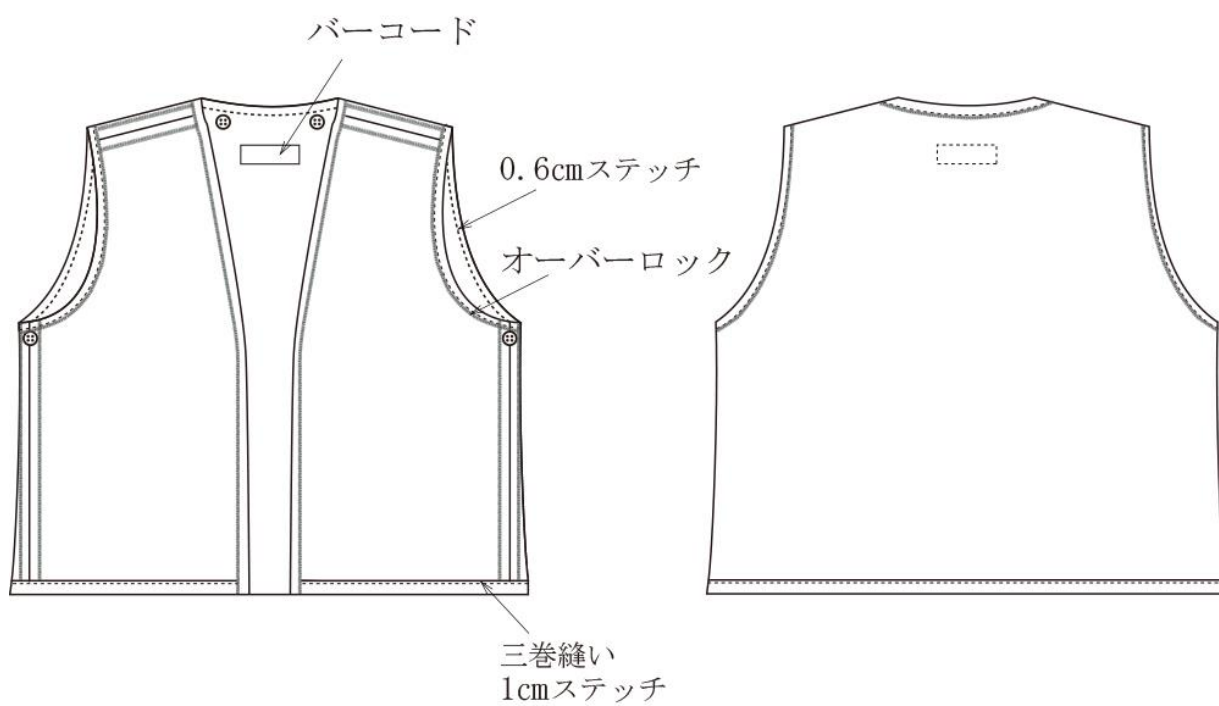
仕様並びに納入に関して疑義のある場合は、発注者に必ず確認し、了承を得ること。

別図1

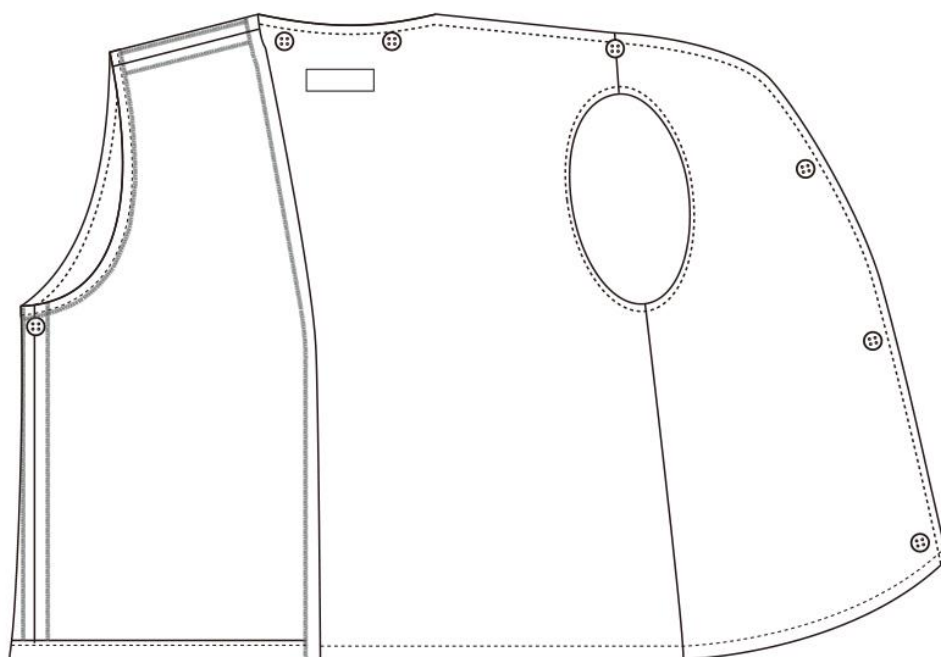


<正面>

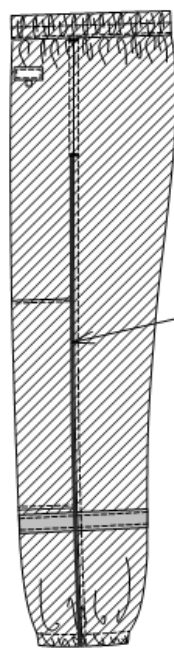
<後面>



<正面・内側>



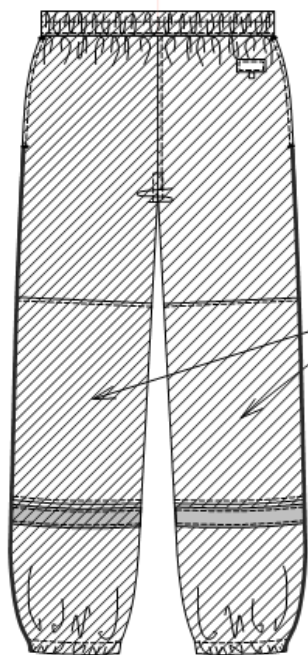
側面



生地色 ダークブルー
3cm巾反射布

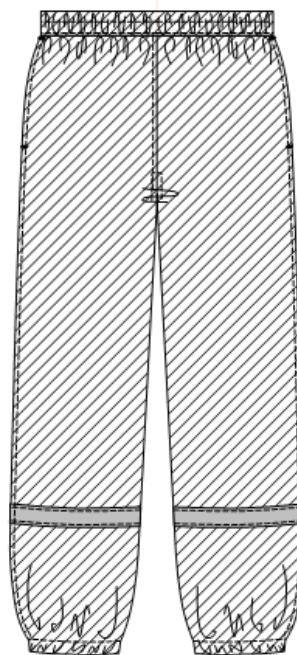
反射
パイピングテープ

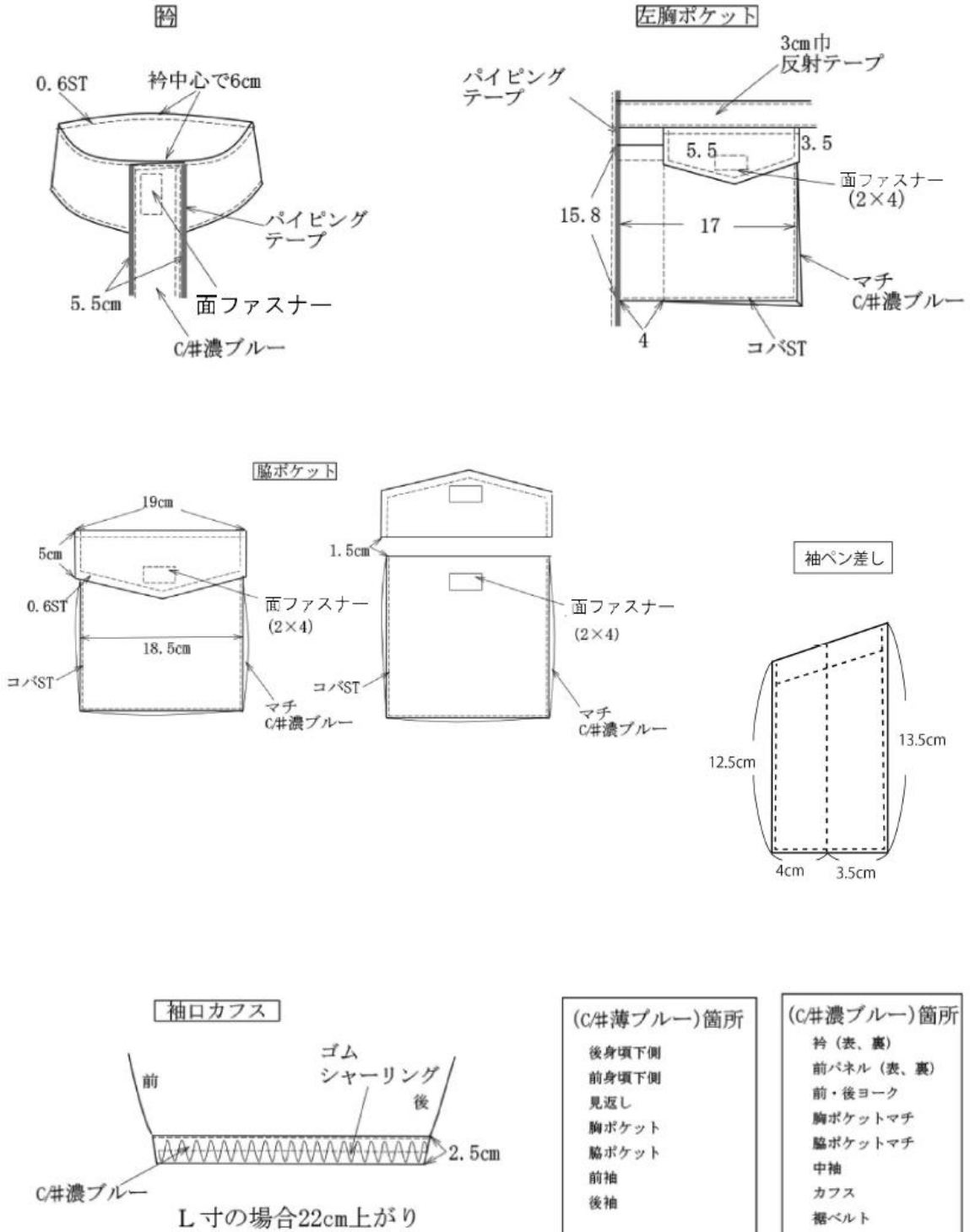
前面



膝当て

後面





感染防止衣上衣サイズ規格表

仕上がり寸法；単位cm

	着丈	バスト	肩幅 (参考)	袖丈 (参考)	衿丈
S	66	115	51.5	58	84.5
M	68	121	53.7	59	86.5
L	70	127	55.8	61	89.5
LL	72	133	58	62	91.5
3L	74	139	60.1	63	93.5
4L	76	145	62.3	63	94.5

感染防止衣下衣サイズ規格表

仕上がり寸法；単位cm

	胸囲	総丈	股下	裾幅
S	62～98	103	73	34～39
M	67～103	106	75	34～39
L	72～108	109	77	35～40
LL	77～113	112	79	35～40
3L	84～120	115	81	36～41
4L	91～127	116	81	36～41
5L	98～134	118	82	37～42

※ 胸囲並びに裾幅は、総ゴム仕立てであり許容量は、7%とする。

明石市消防局ロゴマーク入りプリントワッペン

明石市消防局が採用する、感染防止衣に使用するワッペンの製作並びに縫い付けについて、その諸条件を定めたものである。

1 形式

一般隊員は右胸用に「HYOGO 明石市消防局」の文字を二段、救急救命士は右胸用に「明石市消防局 救急救命士」の文字を二段にし、背中用にも一般隊員は「HYOGO 明石市消防局」の文字を二段、救急救命士は「明石市消防局 救急救命士」の文字を二段にプリントした生地を芯地を貼り、縫いはずれ、縫い曲がりの無いように感染防止衣上衣に縫い付けること。

なお、デザイン、寸法、縫い付け箇所は別図 7-2 の通りとする。

2 素材・材料

(1) 表生地

項目	規格	検査方法
組織	平織	
品質	ポリエステル 100% (導電糸含む)	
仕上がり密度	タテ 148 本/in 以上 ヨコ 123 本/in 以上	JIS L 1096 A 法
織度	タテ・ヨコ共 84Dtex /110Dtex	
重量	125±10g/m ²	JIS L 1096 A 法
通気度	100cc/c m ² ・s 以上	JIS L 1096 B 法 117.7N
制菌加工	「SEK 赤」 特定用途合格レベル	SEK 特定用途

(2) 芯地-1 (接着芯)

品名・規格	接着芯 ポリエステル 100%
品番	3GF35

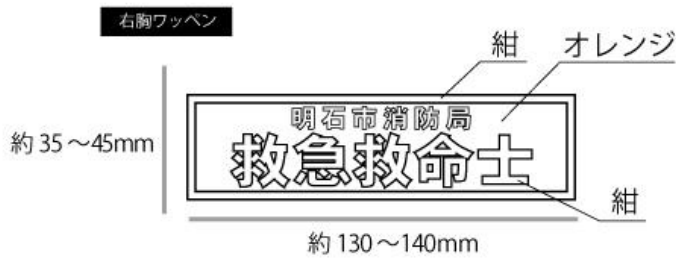
(3) 芯地-2 (フラシ芯)

品名・規格	ヒートハイボン(不織布) ポリエステル 80% ビニロン 20%
品番	2870P

一般隊員用



救急救命士用



救急隊員数

(令和5年4月3日予定数)

	名 称	救急隊員数
1	明石市消防署	10人
2	朝霧分署	10人
3	中崎分署	10人
4	大久保分署	10人
5	江井島分署	10人
6	魚住分署	10人
7	二見分署	10人